

## 第42回番組審議会 議事録

1. 開催年月日 平成29年8月23日（水）11時～

2. 開催場所 (株)ケーブルメディア四国 会議室

3. 出席委員 (7名 出席)

灘波 順一 委員長  
加藤 昭彦 副委員長  
北川 つき子 委員  
長谷 有美 委員  
合田 恵梨子 委員  
大西 均 委員（新任）  
古竹 孝一 委員（新任）

4. 会社側出席者 藤綱 郁夫 (取締役社長)  
大通 孝志 (放送部長)  
田中江里子 (放送部編成制作課長)  
天雲 光紀 (放送部編成制作課課長)  
大池 智子 (放送部編成制作課主任)

## 5. 審議結果

### (1) 自主制作番組について

議案の自主制作番組(別紙①,②)について担当ディレクター等より番組制作の意図などを説明した後、DVDを視聴した。各委員からの主な意見は次のとおり。

#### ①「みんなのお仕事」

- ・造船という普段なかなか見ることのできない物づくりの工程を14分という短い時間にうまくまとめており、大変興味深く見ることができた。
- ・全国的にも珍しい滑走台方式の進水式の映像は圧巻で、貴重である。
- ・番組のコンセプトにリクルートが挙げられていることから、様々な業務の紹介や職員の仕事に対する思い・やりがいなどのインタビューもあったほうが良かったのではないかと。
- ・限られた時間内でどこまでの説明をするかという問題はあるが、まず、船の全体像を示した後に、今はこの部分の製作を行っているという説明をいれたり、完成した内装を見せるなどの工夫が欲しかった。

#### ②行ってみよ国(いってみよくに)～春のめざめを告げるアスパラガス“さぬきのめざめ”

- ・取材内容・構成等、総合的に非常にバランスの良い作品だという印象を受けた。
- ・構成部分で、生産者やイベント・料理だけでなく、アスパラの生産高等のデータもグラフを用いて紹介されていてわかりやすかった。
- ・SNSなどを利用し、番組からイベント動員へのしくみができていたのは大きな成果である。
- ・番組を見た人が、県産品への理解を深め、興味を持てるような作りになっていて良かった。
- ・演出かもしれないが、レポーターの所作が一部気に入った。生産者や料理人が喜んでくれるような配慮が必要である。

#### 【総括】

- ・両番組とも、企画・主旨・内容について良い番組である。
- ・今後も、ケーブルテレビならではの良さを出して、地元の人々の関心を高めるような番組作りをして欲しい。

### (2) 番組審議会委員の委嘱について

委員2名(吉田莞爾氏・四宮徹氏)の退任に伴い、新しく大西均氏と古竹孝一氏に番組審議委員を委嘱することとした。

## 議案 自主制作番組①

番組タイトル	みんなのお仕事
放送期間・番組尺	毎月1日更新（平成28年4月放送開始）・14分
番組コンセプト	エリア内の企業の仕事の内容・様子を紹介する。中学生以上を対象に制作しており、若者の県内での就職の参考になるようにリクルートコメントも放送している。
番組内容	各企業の仕事の内容を、社員の方に説明していただきながら紹介していく。仕事の内容はもちろん、その仕事に対する思いやりがい、また、入社に必要な免許や資格などを教えていただき、その企業で働くためにはどんな準備をしておけば良いのか、視聴者がイメージを膨らませやすい内容となっている。 今回ご覧いただくのは、「四国ドック」のお仕事。 主に、外洋で活躍する大型の貨物船などを製造している造船会社で、造船の工程を追いかけ、その船が進水式を迎え陸から海に入る様子など紹介した。滑走台方式の進水式を行っている造船会社は日本ではもう少なく、貴重な映像として視聴者にお届けした。
出演者	取材先企業の方
プロモーション	HP・チャンネルガイド・取材先企業での社内告知
今後の動き	この番組を制作することで、視聴者はもちろん取材先の企業の方にも満足していただき、弊社へ広告出稿をしていただく企業も出てきた。編成制作課と広告営業課が一体となった番組制作のモデルケースとして、今後も様々な業種の企業を紹介していく。

## 議案 自主制作番組②

番組タイトル	行ってみ四い国（いってみよいくに） ～春のめざめを告げるアスパラガス“さぬきのめざめ”～
放送期間・番組尺	平成29年4月1日～30日・14分
番組コンセプト	四国の観光交流人口の拡大を狙い、四国のケーブルテレビ局が持ち回りで、地元エリアのグルメやスポットを紹介する14分の情報番組。最近では、黄身の白い卵の秘密を探る番組や（愛媛CATV制作）、今治での様々な自転車の遊び方を紹介する番組（今治CATV制作）を放送している。
番組内容	香川県農場試験場で産声をあげたアスパラガスのオリジナル品種“さぬきのめざめ”。この“さぬきのめざめ”は、茎まで軟らかいうえにジューシーで甘く、一口食べると誰もがその美味しさに驚くほどである。 番組では、春に最盛期を迎えるアスパラガスの生産農家におじゃまして、その特徴や生産の難しさ・楽しさを伺った。また、レポーターが収穫を体験したり、採れたてのアスパラを生で食べるなどした。さらに“さぬきのめざめ”を使った料理を提供している高松市内の人気レストランにおじゃまして、放送期間中に食べられるアスパラ料理を紹介した。
出演者	レポーター 森 朋子（ケーブルメディア四国）、生産農家 野口 拓郎さん（のぐふあ〜む）、レストラントラットリアたにぐち シェフ、キッチンMAMAシェフ
プロモーション	弊社チャンネルガイド、ホームページ、フェイスブック等で告知 （フェイスブックでは「アスパラ大騒ぎ実行委員会（県産アスパラの収穫祭イベント）」がシェアをしてくれ、1900を超えるビュー数があった。）
今後の動き	「行ってみ四い国」は年に1回程度の制作番組だが、エリア外の人など多くの人に見てもらえるチャンスなので、より良い番組作りを目指し、そのノウハウをスタッフ間で共有していく。